

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子

元気な体を
つくろう！



発行者：校長 岡田 達也

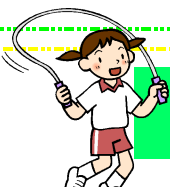
～ えがお かがやき がんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～

みんなで「北川小学校ABCD」の原則！

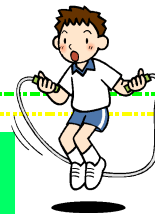
22日(金)の朝、子どもたちはチャイムの合図でクリーンタイムに取りかかりました。この日は、学級の窓ふきをしたり、プランターの水やりをしたりしていました。

チャイムの合図で、子どもたちが一斉に学校や学級をきれいにしている姿は素晴らしいと思います。全校で一つのことに取り組む時間は大切です。一人ではついおろそかにしてしまうことも、みんなでやるときちゃんとやりきることができます。これは、集団の「相互作用」によるものです。「相互作用」とは、人間同士が互いに働きかけ、影響し合うことを意味しています。

言い換えれば、集団(学校全体、学級)は、子ども同士、子どもと教師の人間関係や、そこに生まれる雰囲気等が子どもたちの言動に大きな影響力をもつということです。そのため、子どもたち一人一人をよりよく成長させるためには、学校全体、学級全体をよりよい集団にしていくことが欠かせません。「あたりまえのことを ばかにしないで ちゃんとする人が できる人です！」という『北川小学校 ABCD』の原則は、あたりまえのことがみんなに認められる集団づくりのための、欠かせないキーワードなのです。ぜひ、ご家庭でもご活用ください。



心も 体も たくましく！



運動場が雪でおおわれていたため、2時間目に体育館で「なわとび集会」を行いました。集会の内容は、かけ足跳び、交差跳び、あや跳び、二重跳び、両足跳びを、低・中・高学年ごとの目標タイム目指して、最後まで跳び続けるのです。当然、高学年になるほど設定タイムも長くなり、技術だけでなくあきらめずにがんばる心と体力が求められます。まさに、自分との戦いと言えます。だからこそ、友達の応援が大きな「ゆうき」となるのです。

どの子も業間運動の成果を発揮し、寒さに負けず最後まであきらめずにがんばっていました。すべての種目で目標タイムをクリアした子も数名いました。体育館は、がんばる子どもたち、それを応援する子どもたちの「ゆうき」でいっぱいでした。

